

5 資料（調査票）

大仙市の将来のために
令和5年度市民による市政評価
ご協力のお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、『人が生き 人が集う 夢のある田園交流都市』を将来都市像に掲げ、平成28年度から10年間のまちづくりの基本的指針となる「第2次大仙市総合計画基本構想」のもと、より市民目線に立った実効性のある取組を推進しています。

この「市政評価」は、市民の皆さまが日ごろ感じていることや、市政に対する要望をお伺いするもので、いただいたご回答は、施策の見直しや市民の皆さまとの協働のまちづくりを進めるための基礎資料として活用させていただきます。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えいただきますようお願いいたします。

令和5年5月
大仙市長 老松博行

《回答にあたって》

- ◆ このアンケートは、市内にお住まいになっている16歳以上の方の中から無作為(性別、年齢、地域については考慮)に1,000人を抽出させていただき、無記名形式で行います。
- ◆ このアンケートは、原則として封筒の宛名にあるご本人がお答えください。やむを得ず、ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方(ただし、16歳以上の方)がお答えいただいても結構です。また、設問が難しいと感じられた場合は、ご家族の方と相談しながらお答えいただいても結構です。
- ◆ ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。 ※宛名ラベル右下の4桁の番号は回答状況を確認するためのものです。
- ◆ このアンケートの結果は、後日(秋頃を予定)市のホームページや広報にて公表します。

《回答方法について》

- ◆ 次のどちらかの方法により、6月9日(金)までに、ご回答いただきますようお願いいたします。

1. 調査票による回答

同封している調査票に直接ご記入いただき、返信用封筒に入れてご投函ください。(切手は不要です。)

2. インターネットによる回答

次のURLを直接入力いただくか、二次元バーコードを読み込んでいただき、アンケートフォームからご回答ください。 ※回答方法の詳細は別紙「インターネット回答方法」をご覧ください。

(1) URL

https://apply.e-tumo.jp/city-daisen-akita-u/offer/offerList_detail?tempSeq=4391

(2) 二次元バーコード



【このアンケートに関するお問い合わせ先】

大仙市 企画部 総合政策課 政策調整班

電話:0187-63-1111(内線233) FAX:0187-63-1119

メール:sougou@city.daisen.lg.jp

Ⅰ 施策の満足度と重要度について

あなたは、下表の設問項目について、大仙市の取組にどのくらい「満足」していますか。また、今後、大仙市のまちづくりにとってどのくらい「重要」であるとお考えですか。

下表の設問項目ごとに、「満足度」と「重要度」について、あなたの考えに一番近い番号を選んで、○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

設問項目		満足度					重要度									
		5 満足	4 まあ満足	3 いど えな いとも	2 やや不 満	1 不 満	5 重要	4 やや重 要	3 いど えな いとも	2 であ まり重 要	1 重要 では ない					
Ⅰ 魅力 ある 産業 振興 ・雇 用な どを 創 りま す！	①	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備などに取り組んでいます。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	【商工業】 企業誘致の推進や地元企業の規模拡大、企業の人材獲得に対する支援、商店街の取組や創業への支援などに取り組んでいます。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業など、幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和5年4月1日現在】

新規就農者数	H26 157人 → R3 322人
農業産出額	H26 183億8千万円 → R3 193億9千万円
製造品出荷額等※1	H26 646億9千万円 → R3 959億6千万円
新規雇用創出数※2	H27～R3の累計 755人
新規誘致企業数	H27～R4の累計 12社
創業者数	H27～R3の累計 109人
市内の煙火出荷額	H26 7億6百万円 → R3 3億3千4百万円
観光入込客数※3	H26 263万1千人 → R3 117万9千人
Aターン就職者数※4	H27～R3の累計 520人

※1 製造品出荷額、加工賃収入額、その他収入額及びくず・廃物の出荷額の合計

※2 雇用助成金交付人数と地域雇用活性化推進事業により新規雇用された人数の合計

※3 コロナ禍の影響による大幅な減少

※4 Aターン／秋田県へのUターン・Iターン・Jターンの総称

設問項目		満足度					重要度									
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない					
Ⅱ みんなの元気を応援します！ 出会い・結婚・子育て、健康・福祉など	①	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催に対する支援など、男女の出会いの場づくりや住居取得等への支援などを通じ、地域全体で応援する取組を進めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	【子育て】 2歳児からの保育料無償化など、保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、市民の皆さまの生活を守る社会保障の充実に努めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑥	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に取り組んでいます。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和5年4月1日現在】

出会い・結婚・子育てに関する市民満足度	H27 3.10 → R4 3.26
不妊治療による出産数	H27～R3の累計 141件
子育てサポート会員登録者数	H27 81人 → R3 84人
放課後児童クラブ実施箇所数	H27 21箇所 → R3 34箇所
特定健康診査受診率	H27 39.1% → R3 39.1%
介護予防いきいき隊養成者累計数	H27 106人 → R4 188人
全国500歳野球大会参加チーム数	R4 32チーム
スポーツ合宿実施数※1	H27 15団体 → R4 13団体

※1 コロナ禍の影響による減少

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度									
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない					
Ⅲ 住みよ 安全・安心、まちを築きます！ 都市整備など	①	【自然・衛生環境】 豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境の保全と衛生環境の整備に努めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	【空き家対策】 所有者への助言や指導、解体補助、空き家バンクによる移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用促進に努めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	【公共交通】 地域の実情に応じて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑥	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑦	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑧	【上・下水道】 施設設備の定期的な更新や、適正な維持管理など、生活の基盤となる上・下水道事業の安定した運営に努めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑨	【住環境】 住宅リフォームへの支援、市営住宅や公園・緑地の維持管理など、良好で快適な住生活環境づくりに努めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和5年4月1日現在】

自主防災組織の組織率 H26 67.5% → R4 91.6%

地域公共交通運行状況 地域の実情に合わせて6システム 51路線を運行

R4利用実績 循環バス 12,581人 コミュニティバス 33,405人 乗合タクシー 11,814人

市ホームページ閲覧数 H26 64万9千人 → R4 288万8千人

都市計画道路整備率 H26 59.8% → R4 62.0%

住宅リフォーム支援制度利用件数 H28～R4の累計 2,912件

設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
IV 豊かな心と想像力を育みます！ 教育、生涯学習、芸術・文化など	① 【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域との交流による多様な学びなど、地域一体となって社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動の提供、生涯学習施設の整備など、生涯を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用したイベントなど、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和5年4月1日現在】

学校生活支援員の配置数	H27 56人 → R4 62人
ALT・CIRの配置数※1	H27 8人 → R4 12人
学校のトイレ改修率（洋式化）	H27 73.0% → R3 87.3%
異校種間連携実施率※2	H27 90.6% → R4 100.0%
生涯学習事業への参加延べ人数※3	H27 116,772人 → R3 28,487人
芸術文化協会の団体数	H27 245団体 → R4 184団体
国内友好交流都市との交流	H27 8回 → R4 13回
国内外交流自治体数	R4現在 4団体（座間市、宮崎市、宮古市、韓国唐津市）

※1 ALT／外国語指導助手 CIR／国際交流員

※2 異校種間連携／幼保・小中学校・高校・支援学校・大学など異校間の交流。

※3 コロナ禍の影響による大幅な減少。

設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
V 時代 に合った 地域社会 の維持・ 協働、活 性化、行 政運営な ど	① 【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の確保、自治会活動への支援など、住民主体のまちづくりを応援しています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、移住やAターンの促進と定住に向けた環境づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【市民協働】 ボランティアやNPOなどの市民主体の活動への支援や、ふるさと納税制度を通じた大仙ファンの創出など、協働のまちづくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【男女共同参画】 男女共同参画や女性活躍の推進に関する講座の開催など、性別にかかわらず、誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤ 【行財政運営】 財政健全化や組織機構改革、人口規模に見合った公共施設の配置適正化、行政サービスのデジタル化など、効率的かつ効果的で持続可能な行財政運営に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和5年4月1日現在】

地域予算（市民主導型）活用数※1 H27 73件 → R4 67件

地域おこし協力隊員数 H27～R4の累計 8人

本市への移住者数※2 R2～R4の累計 1,112人

本市への移住相談件数 H28 42件 → R4 132件

市職員数 H27 992人 → R4 834人

ふるさと納税寄付額 H27 901万3千円 → R4 4億1千563万円

財政力指数※3 H27 0.342 → R3 0.335

将来負担比率※4 H27 136.9% → R3 93.8%

全会計市債現在高 H27 991億7千5百万円 → R3 829億3千万円

※1 コロナ禍の影響により、活用数が停滞。

※2 R2年度から移住者の定義を見直し。

移住者：大仙市への転入者の内、転入後5年以上大仙市に居住する意思のある定住希望者

※3 財政力指数／地方公共団体の財政力を示すもの。数値が高いほど財政力が強いことを示す。

※4 将来負担比率／市が将来負担を予定する負債の大きさを示すもの。400%超で早期健全化団体に該当。

2 今後、さらに推進すべき取組について

問1

あなたが「産業分野」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 農業の担い手確保、育成 | 2. 農業生産基盤の整備 |
| 3. 稲作・畑作等複合経営 | 4. 農産物の6次産業化 |
| 5. 畜産業、林業、水産業の振興 | 6. 地域商業の活性化 |
| 7. 企業誘致の強化 | 8. 中小企業の振興 |
| 9. 若者の起業促進 | 10. 花火産業の振興 |
| 11. 特産品の振興 | 12. 魅力ある観光地づくり |
| 13. 雇用の安定と就労環境の充実 | 14. 外国人を含む観光誘客 |
| 15. その他() | |

問2

あなたが「出会い・結婚・子育て分野」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 結婚を応援する環境づくり | 2. 結婚相談会・出会いイベントの充実 |
| 3. 結婚に関わる経済的負担の軽減 | 4. 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり |
| 5. 健診や相談等の母子保健事業の充実 | 6. 妊娠中から切れ目のない子育て支援 |
| 7. 保育ニーズに対応した受入体制の整備 | 8. 夜間・休日保育の充実 |
| 9. 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 10. 放課後児童クラブ・子供教室の充実 |
| 11. 虐待防止対策の強化 | 12. ワーク・ライフ・バランスの実現 |
| 13. その他() | |

問3

あなたが「健康福祉・スポーツ分野」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. からだの健康づくり | 2. こころの健康づくり |
| 3. 地域医療体制の充実・強化 | 4. 病気予防体制の充実 |
| 5. 地域住民による支え合い体制の構築 | 6. ひとり親家庭への福祉の充実 |
| 7. 地域包括ケアの充実 | 8. 生活支援サービスの充実 |
| 9. 介護サービス基盤等の強化 | 10. 障がい者福祉サービスの充実 |
| 11. 社会保障制度の周知 | 12. 生活保護制度の適正な運用 |
| 13. スポーツ活動の活性化 | 14. スポーツ環境の充実 |
| 15. その他() | |

問4

あなたが「**環境・安全分野**」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 自然環境の保全 | 2. 再生可能エネルギーの導入 |
| 3. 交通安全、防犯体制の強化 | 4. 交通弱者への福祉施策 |
| 5. 消費者トラブル対策 | 6. 消防団員の確保と活動の活発化 |
| 7. 地域防災体制の整備・強化 | 8. 水害対策設備の充実 |
| 9. 除排雪体制の充実 | 10. 消融雪設備の充実 |
| 11. 空き家の適正管理と利活用 | 12. 廃棄物の排出抑制・適正処理 |
| 13. 河川とその周辺環境の保全・整備 | 14. 公園・緑地の整備、緑化の取組 |
| 15. その他() | |

問5

あなたが「**都市基盤分野**」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1. 主要道路網・幹線道路の整備 | 2. 生活道路の整備 |
| 3. 道路・橋りょうの適正な維持管理 | 4. 駅舎、駐車場の整備・維持管理 |
| 5. 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 6. 計画的な市街地整備 |
| 7. 人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり | |
| 8. 住生活環境の充実 | 9. 住宅の耐震化率向上 |
| 10. 情報基盤の整備による地域情報化 | 11. 安全で安定した水道水の供給 |
| 12. 下水道施設の適正管理と更新 | 13. 下水道未普及地区の解消 |
| 14. その他() | |

問6

あなたが「**教育・交流分野**」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 生きる力を育む学校教育 | 2. 学校と地域の交流・連携 |
| 3. 児童・生徒数にあわせた学校施設の整備 | 4. 家庭教育の充実 |
| 5. 地域と連携したふるさと教育 | 6. 特別支援教育の充実 |
| 7. デジタルを活用した学習環境の充実 | 8. 生涯学習の機会拡大・情報発信 |
| 9. 芸術、文化活動の振興 | 10. 文化財の保全と活用 |
| 11. 非核平和の啓発 | 12. 他自治体との連携・交流 |
| 13. 国際交流の促進 | |
| 14. その他() | |

問7

あなたが「地域活性化・市民との協働・行財政運営分野」で、さらに推進すべきであると考えられる取組はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 地域資源の掘り起こしと活用 | 2. 地域活動の情報発信 |
| 3. 行政への市民参加機会の拡大 | 4. 自治組織づくり、自治会活動の促進 |
| 5. 地域主体の課題解決や活性化の促進 | 6. 小規模集落・高齢化集落への支援 |
| 7. 移住・定住の促進 | 8. 若者が活躍できる環境づくり |
| 9. 男女共同参画社会の形成 | 10. 事務組織の見直しと職員資質の向上 |
| 11. 行政情報の提供や公開の充実 | 12. 各種行政手続きのデジタル化 |
| 13. 利用状況等にあわせた公共施設の見直し | 14. 公文書の保存・公開 |
| 15. その他() | |

3 市の情報発信や行政サービスのデジタル化について

市では「行かなくても済む『市役所』」を目指し、情報発信や行政サービスのデジタル化を進めています。これまで、各種証明書の申請手続きのオンライン化やコンビニ交付サービス、発行手数料のキャッシュレス化などを進めてきたところであり、今年度はスポーツ施設のオンライン予約システムを導入する予定としています。

人口減少が進行する中であっても、持続可能で質の高い行政サービスを提供し続けていくために、あらゆる場面でのデジタル化が必須となっていることから、その推進にあたり、市民の皆さまのご意見をお伺いします。

問1

市では様々な方法で市政情報を発信していますが、あなたがその情報を入手するため、主に利用している手段は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は2つまで)

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 市広報「だいせん日和」 | 2. コミュニティFM「FMはなび」(ラジオ) |
| 3. 市公式SNS(LINE、Facebook等) | 4. 市ホームページ |
| 5. 市役所の窓口(支所等を含む) | 6. 家族や知人からの口コミ |
| 7. その他() | |

問2

あなたにとって問1の情報入手手段は利用しやすいと思いますか。(情報入手のしやすさ)あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ある程度そう思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

問3

あなたにとって市のサービスは利用しやすいと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ある程度そう思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

問4

あなたは、今後行政サービスのデジタル化が進むことで、市が行っているサービスがどのように良くなることを期待しますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

1. 市役所に行かなくてもオンラインで手続きができる
2. 各種相談をオンライン(メールやウェブ相談など)で行うことができる
3. 市役所窓口でキャッシュレス決済が利用できる
4. 市役所窓口での申請などが簡単で分かりやすくなる
5. 自分に必要な市の情報がアプリやメールなどで入手できる
6. 市が保有するデータ(人口や各種調査結果など)をウェブ上で入手・利用できる
7. 災害発生時の緊急情報などを迅速かつ正確に入手できる
8. その他()

4 あなたが思う大仙市について

問1

あなたが現在大仙市に住んでいる経緯はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 生まれてからずっと住んでいる
2. 市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た
3. 市外に住んだことがあり、自分の意志で引っ越して来た

問2

大仙市は、住みやすいまちだと思いますか。あなたの考えに一番近い番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい |

問3

これからも大仙市に住み続けたいと思いますか。あなたの考えに一番近い番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 今の場所に住み続けたい | 2. 市内の別の場所へ移りたい |
| 3. 市外に移りたい | 4. 住み続けたいが、移らざるを得ない |

次のページからは、市が行っている個別の事務事業に対して、市民の皆さまから評価・要望等をお伺いするアンケート調査です。

ご自身に直接関係がないと思われる設問もあるかもしれませんが、市民の皆さまのご意見を幅広く伺い、今後の事業の参考とさせていただきますので、可能な限りすべての設問にお答えいただきますようご協力をお願いいたします。

テーマ | SDGsについて

SDGsは、世界が直面する様々な問題をみんなで協力して解決していくため、2015年に国連で採択された「世界共通の目標」です。2030年までの達成を目指し、17の目標(ゴール)と169の達成基準(ターゲット)が設定されており、私たち一人一人が「自分のこと」として考え、行動していくことが求められています。

市では、市民の皆さまにSDGsへの理解を深めていただきながら、市全体で取組を進めていくため、市広報やホームページなどを通じた積極的な情報発信に加え、令和4年5月の「SDGs未来都市」への選定を追い風に、SDGsを原動力とした持続可能なまちづくりに取り組んでいます。

この調査では、市民の皆さまのSDGsに関する認知度や取組状況を伺い、今後、さらにSDGsを推進していくための参考とさせていただきます。

また、17の目標のうち、日本での取組に深刻な課題があるとされる「ジェンダー平等を実現しよう」に関連して、男女共同参画についての認知度やお考えなども伺い、取組を推進していくための参考とさせていただきます。



問1 あなたはSDGsという言葉を知っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 言葉も内容も知っている
2. 内容はわからないが、言葉は知っている
3. 知らない

問2 あなたはSDGsについて関心がありますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. ある
2. ややある
3. あまりない
4. ない

問3 あなたはSDGsを意識して、日常で何らかの取組を行っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 積極的に取り組んでいる
2. ある程度取り組んでいる
3. 取り組んでいないが、今後取り組みたい
4. 取り組んでいないし、今後取り組む予定もない

問4

SDGsの17の目標のうち「取り組んでいる」、または「取り組みたい」と考えている目標は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 貧困をなくそう | 2. 飢餓をゼロに |
| 3. すべての人に健康と福祉を | 4. 質の高い教育をみんなに |
| 5. ジェンダー平等を実現しよう | 6. 安全な水とトイレを世界中に |
| 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 8. 働きがいも経済成長も |
| 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう | 10. 人や国の不平等をなくそう |
| 11. 住み続けられるまちづくりを | 12. つくる責任つかう責任 |
| 13. 気候変動に具体的な対策を | 14. 海の豊かさを守ろう |
| 15. 陸の豊かさを守ろう | 16. 平和と公正をすべての人に |
| 17. パートナリシップで目標を達成しよう | |

問5

あなたは、男女共同参画に関する次の言葉を知っていますか。あてはまる番号にそれぞれ○をつけてください。(○は1つずつ)

1)	「男女共同参画社会」 男性も女性も意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できる社会	1. 言葉も内容も知っている 2. 内容はわからないが、言葉は知っている 3. 知らない
2)	「ワーク・ライフ・バランス」 「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動などの「仕事以外の生活」との調和をとり、どちらも充実させる働き方・生き方	1. 言葉も内容も知っている 2. 内容はわからないが、言葉は知っている 3. 知らない
3)	「ポジティブ・アクション」 男女間の格差を解消するために行う自主的かつ積極的な取組	1. 言葉も内容も知っている 2. 内容はわからないが、言葉は知っている 3. 知らない

問6

あなたは「男性は仕事、女性は家庭」という考え方についてどう思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|---------------|---------------------|
| 1. 賛成 | 2. どちらかと言えば賛成 | 3. どちらとも言えない(わからない) |
| 4. どちらかと言えば反対 | 5. 反対 | |

問7

あなたの家庭では、家事や育児、介護等をどのように分担していますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 主に女性が行っている | 2. 主に男性が行っている |
| 3. 男女ともに同じように行っている | 4. どちらか手の空いている方が行っている |
| 5. その他() | |

問3

結婚にあたって障害となるもの、または、障害となると考えられるものは何ですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. 結婚式の費用等、結婚する際の資金 | 2. 結婚生活のための住居 |
| 3. 婚姻後の生活費等、結婚生活にかかる費用 | 4. 職業や仕事上の問題 |
| 5. 親の承諾 | 6. 親との同居や扶養 |
| 7. 年齢のこと | 8. 健康上のこと |
| 9. 特になし | 10. わからない |
| 11. その他() | |

問4

これまでやってみたことのある婚活はありますか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 家族や親せきからの紹介 | 2. 職場の人からの紹介 |
| 3. 友人からの紹介 | 4. 婚活イベントへの参加 |
| 5. 結婚相談所などの利用 | 6. マッチングアプリの利用 |
| 7. 趣味などの活動への参加 | 8. お見合い |
| 9. 合コンなどへの参加 | 10. 特に何もしていない(したことがない) |
| 11. その他() | |

問5

出会い・結婚に関する支援で必要だと思うものは何ですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 男女の出会いの場の提供
2. 交際にあたってのノウハウを学ぶセミナーの開催
3. 結婚に関して相談できる場所
4. 非正規社員から正規社員への雇用形態の転換など雇用の安定化
5. 夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実
6. 結婚した方が有利となるような税制や社会保障制度の整備
7. 結婚や住宅に対する資金貸与や補助支援
8. 長時間労働の是正など自由な時間の確保
9. 結婚は個人の問題であるため、支援は必要ない
10. その他()

■あなたご自身のことについてお伺いします。

・あなたの性別を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 無回答 |
|-------|-------|--------|

・あなたの年齢を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 16～19歳 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 |
| 5. 50～59歳 | 6. 60～64歳 | 7. 65～69歳 | 8. 70～74歳 |
| 9. 75～79歳 | 10. 80歳以上 | | |

・あなたの現在の就業状況を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|------------|---------------------|--------------|-------|
| 1. 正規社員・職員 | 2. 自営業・家族従業者(農林業含む) | 3. パート・アルバイト | |
| 4. 派遣・契約社員 | 5. 専業主婦・主夫 | 6. 学生(高校生含む) | 7. 無職 |
| 8. その他() | | | |

・あなたの居住地域を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 大曲地域 | 2. 神岡地域 | 3. 西仙北地域 | 4. 中仙地域 |
| 5. 協和地域 | 6. 南外地域 | 7. 仙北地域 | 8. 太田地域 |

・あなたの家族構成を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦世帯 | 3. 二世帯世帯 |
| 4. 三世帯世帯 | 5. その他() | |

■自由意見

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見やご提案などがありましたら、ご記入ください。

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたこの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、6月9日(金)までに、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。